

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」目標

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年 度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
062090_長 井市	①学校運営上 の課題	社会に開かれ た教育課程へ の対応	児童生徒がより広い視野を持 ち、主体的に学ぶため、教科指 導等における地域人材の確保 や連携が課題。	本事業のメニュー(地域未来塾や放課 後子ども教室など)をフルに活用し、地 域の人材を活用するために市内各地区 コミュニティセンターとの連携を深めて いく。	引き続き市内各小中学校に地域学校協 働活動推進員を配置し、地域の人材活 用、新たな人材の発掘に取り組む。また、 一部地区では学校と地域との会議を令和 7年度から月1回設定するなどの取り組 みを進める。	子どもの学力や社会性の向上に 資するとともに、地域あがての子 育て意識の向上を図ることがで きる。	地域に開かれた教育 が実施できていると 感じる保護者の割合	92	%	96		
062090_長 井市	②学校と地域 の課題	学校支援ボラ ンティアの確 保・育成	子どもの減少、コロナ禍により、 子どもたちの内向的な傾向が 進み、地域活動にもなかなか出 てこなくなっている。	コロナ禍後、学校運営協議会等で協議 し、子どもが参加できる行事をようやく 再開できたため、さらに活動を広げ子ど もたちの認知につなげて参加しやすい 雰囲気づくりをしていく。	各学校の運営協議会での議論(今後の取 組への展望)として、学校支援ボランティ アの確保とともに、学校を舞台とした地域 活動を子どもや迎えに来る親にも見せ、R 6は前年度に比べ参加者も増えた事を踏 まえ、実施回数を増やしさらなる活動を進 める。	地域活動を通して地域の大人と 触れ合うことにより、子どもの社 会性の向上に資するとともに、地 域あがての子育て意識の向上、 学校を舞台とした生涯学習事業 の展開を図ることができる。	地域行事へ子どもた ちが参加していると 感じる保護者の割合	83	%	86		